

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 女性の健康づくり事業（女性の健康診査）
-------------------	----------------------------------

区分	番号	名 称
章	1	やさしさと共生するまち
節	2	市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせるまちをつくる
施策	2	保健予防活動の充実
小分類	1	成人及び老人保健の充実
主要な施策	1	各種検診の充実と受診率の向上
事務事業番号	003	事務事業コード 12211003 事業開始年度 平成 7 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	女性の健康づくり推進事業
------	------	------------	--------------

部 名	保健福祉部	グループ名	健康推進 G
-----	-------	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	（事務事業の実施目的を具体的に記載してください） 若年期から健康に関心を持ち、健康の保持・増進を図るとともに生活習慣病を予防する。
手段（事業の内容・活動）	（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください） 19～39歳までの女性を対象に、健康診査を実施 健康診査内容 計測 血圧測定 血液検査(貧血・脂質・血糖)
成果	（事務事業の実施成果を具体的に記載してください） 健康診査を受診することで、健康への意識を高め、適切な生活習慣を身につけるきっかけとなり、健康維持することができ、壮年期に罹りやすい疾病の予防が図られる。
根拠法令等	（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください） 健康増進法

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	健康診査受診数	人	目標値	120	120	120	120	120
			実績値	102	/	/	/	/
			目標値		/	/	/	/
			実績値		/	/	/	/

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円	21	22	30	30	30	90
	一般財源 名称	千円	561	676	660	660	660	1,980
合 計			582	698	690	690	690	2,070
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	249	256			
		嘱 託 員	千円	78	85			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		327	341			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 検診の機会が少ない若い女性を対象に若いうちから生活習慣病の予防を推進する上で市が実施主体となり事業を行うことは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 検診から、肥満・脂質異常など早期発見・早期治療につながっている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 検診の受診促進のための周知や、検診から見つかる有所見者を対象に生活習慣の改善・疾病予防の知識普及を推進するため保健指導を実施していく。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 検診機関で単価設定されているため、経費削減は難しい。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	検診機会の少ない若い女性を対象としており、自己の生活習慣病の早期発見のため、また、家族の健康づくりにも喚起されることから必要な事業である。
-----------	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）